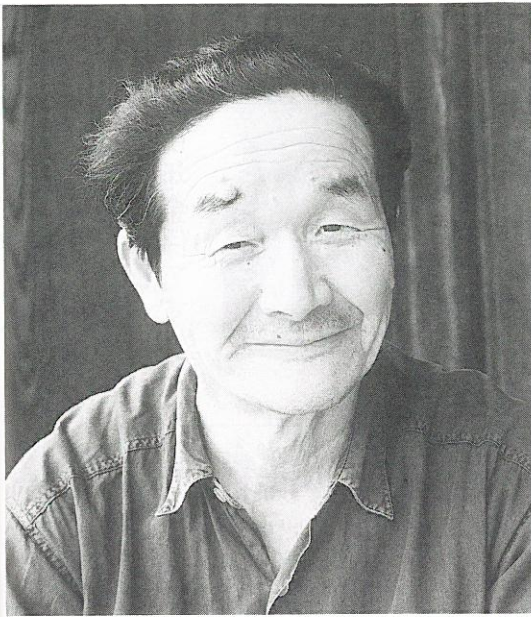


楽しく美しい まちづくり通信…⑥0



しほ や たけ み
伊屋 武美さん (68歳)
(野々上字落合)

舌崎から金田一川沿いに県道を車で約十五分、上海上地区の外れから県道を右折し五〇〇ほど進むと、一軒の民家があります。地名は油久保といひ、伊屋武美さんのお宅です。家を囲むようになだらかな斜

面に果樹園が広がり、その奥の杉木立の中に、山神様がまつられています。この神社の由来は「神社取調村目録」に弘化二年(二八四五)の記録が残されており、伊屋さんのご先祖がここに住む前からまつられていたといひます。二間四方の社殿には、山の神様のほか、観音様、毘沙門様などが大切にまつられています。庭先には、サワラ(幹回り二・八〇センチとカツラ(四・二〇センチ)の巨木が競うように並び、両木の根本からは清水が湧いて

手を伸ばせば 自然 くサンシヨウウオと八の太郎く



▲八の太郎の足跡
奥がかかたで手前がつま先



▶サワラの巨木の根本からは
こんこんと清水がわき出し
ている

います。サワラの清水にはサンシヨウウオが生息し、五月には卵を見ることが出来ます。カツラの木のわきを通り、雑木林を一〇〇ほど下っていくと、右側に大きなくぼ地が目につきます。このくぼ地は、「八の太郎の足跡」といわれています。山手がかかたで、足先が下に向き、八の太郎が十和田から逃げてくる途中、三戸町斗内のエンコカクラで犬に追われて残した足跡だといひ伝えられています。伊屋さんは、「春の雪解けにはよく水がたまっているけど、天気が続くと水がなくなる。でも、あそこは底なしだから水が

無いと思つて入ると危険だ」と話してくれました。四月、うらかな春の日差しの中、野鳥のさえずりを聞き、越冬したチョウが舞う原風景に心温まる思いを刻みあとにしました。



こよみ



5月11日～6月10日

★5月★

- 12日(火) 3歳児健康診査(市保健センター)、看護の日
- 13日(水) 市民生活相談(市役所市民相談室)
- 14日(木) 沖縄本土復帰記念日
- 15日(金) 国際善意デー
- 16日(土) 4カ月児健康診査(市保健センター)、離乳食セミナー・中期(市保健センター)
- 17日(日) 法律相談(市役所市民相談室)、小満(二四節気)
- 18日(月) 法律相談(市役所市民相談室)、市長と語る日(市長室)
- 19日(火) 1歳6カ月児健康診査(市保健センター)、離乳食セミナー・後期・親子ブラッシング教室(市保健センター)
- 20日(水) 育児相談(市保健センター)
- 21日(木)
- 22日(金)
- 23日(土)
- 24日(日)
- 25日(月)
- 26日(火)
- 27日(水)
- 28日(木)

つようになる危険性が考えられ

029日(金)